

公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

1. 職名及び人員 准教授または助教 1名
2. 所属 木材高度加工研究所
3. 専門分野 木質材料学
本公募では、木材の構造及び物性に関する基礎知識を有するとともに材料開発の分野において相応の業績を有し、自由な発想で新規機能性木質材料の開発に不可欠な「木質材料学」に関する教育・研究を主体的に推進するとともに、木材高度加工研究所内外の研究者と連携して関連する分野の研究に積極的に参画し、それらの研究を推進することによって、森林・木材研究の持続的な発展・深化に寄与しうる人材を求めます。
4. 担当授業科目 主に大学院の講義を担当。担当科目は採用内定者の専門等を考慮して決定します。
5. 応募資格
 - (1) 准教授への応募者は博士の学位を有すること、及び研究上の相応の業績を有すること
助教への応募者は博士の学位を有すること、または採用日までに取得見込みであること、及び研究上の相応の業績を有すること
 - (2) 当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること
 - (3) 国籍は問わないが、日本語が堪能であること
 - (4) 採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 令和5年4月1日
7. 勤務条件等
 - (1) 身分 公立大学法人職員
 - (2) 給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制（本学給与規定による。）
 - (3) 勤務 裁量労働制
 - (4) 任期 5年の任期制（再任回数に制限はありません。）
 - (5) 定年 67歳
8. 応募書類
 - (1) 履歴書（本学所定の様式1*による。）
 - (2) 研究業績書（本学所定の様式2*による。） 学術論文は、①学術論文（査読付き）、②国際会議発表論文（査読付き）、③その他に分類して記載してください。また、准教授は主要なもの5編、助教は3編に○を付けてください。
 - (3) 主要論文（コピー可） 准教授への応募は5編、助教への応募は3編
 - (4) これまでの研究、教育及び社会活動（地域貢献を含む。）の概要（1000字程度）
 - (5) 研究に対する抱負（1200字程度）
 - (6) 教育に対する抱負（800字程度）
 - (7) 地域貢献に対する抱負（800字程度）
 - (8) 応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先
 - (9) 科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧
注）*印：履歴書（様式1）及び研究業績書（様式2）については、ホームページ（<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>）をご参照ください。
9. 応募締め切り 令和4年12月2日（金）必着（※応募締め切りを延長しました。）
10. 選考方法
 - (1) 第一次選考 提出書類審査、プレゼンテーション、選考委員会による面接
 - (2) 第二次選考 プレゼンテーション、役員による面接
※第一次選考及び第二次選考の面接はオンラインで実施する場合があります。
※対面にて面接を実施する場合の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先
〒016-0876 秋田県能代市宇海詠坂11-1
秋田県立大学木材高度加工研究所教員選考委員会
TEL：0185-52-6900、FAX:0185-52-6924、E-mail：koubo@iwt.akita-pu.ac.jp
※封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。
応募書類は返却しません。
12. その他 本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律等に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

（次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく公立大学法人秋田県立大学一般事業主行動計画：
https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20210317_koudou02.pdf）

今回の公募で求める人材像

(木材高度加工研究所 木質科学研究グループ)

木材高度加工研究所は設立以来、「地球規模の理想的な木質資源循環系の確立」という理念のもと、「秋田県の木材産業を資源依存型から技術立地型に転換するための基盤の確立」を目的として、木材の高度加工に関する研究に取り組んできました。

本公募では、木材の構造及び物性に関する基礎知識を有するとともに材料開発分野において相応の業績を有し、自由な発想で新規機能性木質材料の開発に不可欠な「木質材料学」に関する教育・研究を主体的に推進するとともに、木材高度加工研究所内外の研究者と連携して関連する分野の研究に積極的に参画し、それらの研究を推進することによって、森林・木材研究の持続的な発展・深化に寄与しうる人材を求めます。

本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

木材高度加工研究所の研究グループ構成

木材高度加工研究所の研究グループは、学部のような講座制とは所属形態が異なり、所内外の研究者や民間企業等とアドホック的なチームを形成して研究を進めています。例えばCLTプロジェクトでは、製造を担当する研究者とそれを用いた構造の研究者とが集まってチームを組みます。したがって、研究グループとしては木質科学研究の1グループのみとなり、今回の公募ではこのグループの准教授または助教が対象となります。

なお、構成員の専門分野は以下のとおりです。(令和4年4月1日現在)

【木質科学研究グループ】

- | | |
|----------------------------|---------------|
| ・高田克彦 教授 (所長) : | 森林資源遺伝学 |
| ・山内 繁 教授 : | 分析化学、無機化学 |
| ・栗本康司 教授 : | 木材化学工学 |
| ・山内秀文 教授 : | 木質材料学、木質材料加工学 |
| ・渡辺千明 准教授 : | 木質工法、地域防災学 |
| ・岡崎泰男 准教授 : | 木材工学 |
| ・澁谷 栄 准教授 : | 木材保存学 |
| ・川井安生 准教授 : | 木材乾燥、木材物性 |
| ・足立幸司 准教授 : | 木材加工学、木質材料学 |
| ・野田 龍 准教授 : | 森林土木学、木材工学 |
| ・安藤大将 助教 : | 木材化学 |
| ・工藤佳世 助教 : | 樹木組織学、樹木生理学 |
| ・ <u>今回公募 (准教授または助教) :</u> | <u>木質材料学</u> |